

(財) 茨木市文化振興財団第37回公演

# 漫才今昔史

音楽万才からしやべくり漫才まで



横山たかし・ひろし

今いくよ・くるよ

海原はるか・かなた

平和ラップ・梅乃ハップ

SNOB

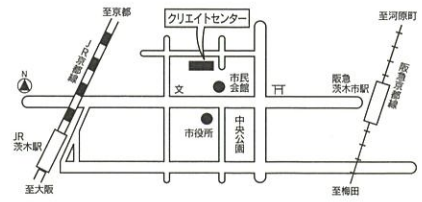
解説：相羽秋夫 (演芸評論家・大阪芸術大教授)  
お雑子：なにわの会

2002年

6月6日(木) 昼の部=14:00開演/夜の部=18:30開演(開場は各30分前)

## 茨木市クリエイトセンター・センターホール

茨木市駅前四丁目6番16号/阪急茨木市駅から西へ徒歩10分、JR茨木駅から東へ徒歩10分、市役所北200m



●全席指定 1階席=3,000円 2階席=2,500円 割引=65歳以上、高校生以下、障害者及びその介護者は500円引き  
 ※就学前のお子様のお入場はご遠慮ください  
 ●チケットのお取り扱い(3/25発売)  
 (財) 茨木市文化振興財団 0726-25-3055/J A 茨木市各店舗 0726-27-7762 (本所総務課) / ローソンチケット 06-6387-1900 (オペレーター対応) /  
 ローソンチケット・Lコード予約 06-6369-6633 (Lコード 52390) / チケットぴあ 06-6363-9999 (オペレーター対応) / チケットぴあ・Pコード予約 06-6363-9966  
 (Pコード 407-669) ※各種割引の取り扱いには文化振興財団のみです  
 ●お申込み・お問合せ  
 0726-25-3055(財)茨木市文化振興財団 〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号クリエイトセンター1F (月~金、9:00~17:15、土・日・祝日休業)  
 ●主催=財団法人茨木市文化振興財団 ●制作=三栄企画 ●構成=相羽秋夫

# 漫才は海綿動物です



## 相羽秋夫

演芸評論家  
大阪芸術大教授

漫才ほど、芸の形態をさまざまに変化させてきたものはほかに見当たりません。

時々の大衆の好みを早く取り入れたからこそ、漫才は上方の大衆芸能の中で、たえずトップの座を占めてきたのです。

その意味で、漫才は海綿動物のように、なんでも吸収し、いろいろな形態を整えてきました。

今回の企画「漫才今昔史」は、そうした漫才の歩みを漫才の形態を見的过程中で知ってもらおうというものです。

「漫才」の源流となったのは、尾張萬歳や三河萬歳に代表される「萬歳」です。

全国の家々を二軒ずつまわって、その玄関先で芸を見せる「門付芸」だったのです。

それを、河内の玉子販売業者だった田辰という人が、愛知県に玉子の買い付けに行った折に見て覚え、河内に帰って玉子売るときにその芸を見せて商いをしていました。

また、それを見た興行師が、よしこれを寄席でやったら受けると判断して、明治末期に取り入れました。

その時、「萬歳」という字の略字の「万才」という文字を当てました。

この「万才」時代の芸は、「歌舞音曲」、つまり歌うこと、舞うこと、楽器を演奏すること、が中心だったのです。

今でいう「音楽ショー」、古くは「歌謡万才」、もつと古く言えば「音曲万才」が主流だったのです。

昭和の初期になると、こうした歌舞音曲に頼らない、しゃべくりだけの芸をする人が現

れてきました。

それが「お笑い早慶戦」という名作で名高い横山エンタツ・花菱アチャコです。因みにエンタツは、「万才」時代のきつかけを作った玉子屋田辰とは別人です。

しゃべくり中心になって、俄然内容がおもしろくなった「万才」は、折から漫画が流行していたので、漫画のようにおもしろい、ということでも「漫才」という字が使われるようになった。

「萬歳」↓「万才」↓「漫才」という文字の変化によって、この芸は変化してきたのでした。

「漫才今昔史」は、前半が「万才」の時代の形態を残している二つのコンビの芸を見てもらいます。

まず **SNOB** です。最近の若手は、100%しゃべくり漫才といってもいい中で、このコンビは、楽器を持ち、適宜音楽的要素を取り入れたユニークな芸風のコンビです。

こういうコンビが、あと何組か登場することによって、漫才の芸の幅が広がると思います。その意味でも二人にがんばって欲しい、と願わずにはいられないのです。

もう一組、**平和ラップ・梅乃ハッパ**です。こちらは、歌謡漫才の第一人者として君臨しています。

文化庁芸術祭優秀賞を受賞したことで、その力量がわかります。ラップは、「天王寺の亀がなあ…」で有名な先代ラップの弟子で、デビュー当初からギターを片手にがんばってきました。一方ハッパは、ルーキー新一の弟子

で、こちらもギターを巧みに演奏します。二人の歌と音楽としゃべくりがかもし出す楽しさを味わって下さい。

後半は、「漫才」の時代の主流を占めるしゃべくり漫才の、三パターンを見てもらいます。

**海原はるか・かなた**は、男性コンビを代表して、迫力のあるしゃべくりを展開します。ともに海原お浜・小浜門下として、長い下積みを経験して花咲かせたコンビです。

身体的な欠陥をこれほど見事に笑いに転化させた例は少ないでしょう。抱腹絶倒の二十分となるでしょう。

**横山たかし・ひろし**は、しゃべくりの中で「ぼやき漫才」と言って、一人が一方的に世の中のことをぼやく芸が大阪にはありますが、その系統を守っています。

ただ、その内容が、大金持ちのおぼっちゃまという前提でたかしがほらを吹くので、「ぼら吹き漫才」とも呼ばれています。

このコンビも、幾多の試行錯誤を経てたどりついた輝かしい現在があるのです。

女性のしゃべくり漫才の代表として **今いくよ・くるよ** が出演します。

くるよのファッションには、見ているだけで笑いがとれるようになっており、それを巧みに利用したしゃべくり魅力溢れます。

女性コンビは、ガラスのコンビと言われ、なかなか長続きしないのですが、二人の努力で、その最高峰として息の長い活躍をみせています。

と、漫才の百年近い歴史をめぐる企画、たつぷりとお楽しみ下さい。

会席料理…出張パーティー…各種宴会

茨木市民会館レストラン「ルネッサンス」



茨木料飲株式会社

茨木市駅前4-7-50  
TEL0726(23)3370・FAX(23)4754



環境にやさしい企業を目指す

## ホンダ"運送株式会社

HONDA LOGISTIC SERVICE

本社 〒567-0037 大阪府茨木市上穂東町3番19号  
TEL.0726(26)1231 <http://www.honda-unsou.co.jp>  
営業拠点 宇都宮・東京・千葉・浜松・鈴鹿・神戸・岡山・香川・九州